



2018 年 9 月 18 日

アウディ ジャパン株式会社
プレスサイト <http://www.audi-press.jp/>

お客様問い合わせ 0120 - 598 - 106
アウディ コミュニケーションセンター

SUPER GT 第 6 戦菅生、2 台の Audi R8 LMS が執念の完走

● Audi Team Hitotsuyama は予選 6 位から一時 3 位を快走するもタイヤトラブルに見舞われる

アウディ ジャパン株式会社 (本社: 東京都品川区、代表取締役社長: フィリップ ノアック) は、Audi R8 LMS で 2018 年シーズンの SUPER GT GT300 クラスに参戦するカスタマー (プライベート) チームをサポートしています。9 月 15 日 (土)、9 月 16 日 (日)、スポーツランド菅生 (宮城県 1 周 3,704m) で 2018 SUPER GT 第 6 戦となる「SUGO GT 300km Race」が開催されました。

今大会にも新型 Audi R8 LMS を擁する #21 Audi Team Hitotsuyama (アウディ チーム ヒトツヤマ) と、#26 Team TAISAN (チーム タイサン) の 2 チームが参戦。決勝レースは快晴に恵まれ、2 日間でのべ 4 万 1400 人ものファンがスポーツランド菅生を訪れました。

予選 Q1 は曇りで、午前中に降った雨の影響が懸念された中でのアタックとなりました。Audi Team Hitotsuyama は、リチャード ライアン選手が Q1 を見事にトップタイムで突破。Q2 を担当した富田 竜一郎選手も 6 位につけ、決勝レースは 3 列目の好位置からのスタートとなりました。Team TAISAN は、予選 Q1 は、山田真之亮選手がアタックを担当。22 位という結果でした。

決勝において、Audi Team Hitotsuyama は第 1 スティントをリチャード ライアン選手が担当。スタート周回、早々 1 台を追い抜き 5 位に。その後も順調に順位をあげ 3 位にまでポジションをアップしました。しかし、突然のタイヤトラブルで緊急ピットインを余儀なくされ、タイヤ交換後すぐにコースへ戻りましたが、タイヤトラブルで車体にもダメージを受けていたことが判明。ふたたびピットインし、第 2 スティントを担当する富田 竜一郎選手へとドライバー交代してコースへ復帰しました。富田選手は我慢強くトップチームにも匹敵するタイムで走り続け、23 位完走となりました。Team TAISAN は第 1 スティントを山田真之亮選手が担当。着実な走りで 20 位までポジションをアップし、第 2 スティントの川端 伸太郎選手へとバトンタッチしました。ここからの追い上げが期待されましたが、タイヤトラブルが発生。タイヤ交換を行い復帰するも 20 位完走という結果になりました。

Audi Team Hitotsuyama チーム代表 一ツ山 亮次氏のコメント

「予選は天候の判断の難しい中でのアタックでしたが、ライアン選手がトップタイムを出し、富田選手も 3 列目スタートと上位を十分に狙える好結果でした。決勝では 14 周を重ねたところで、ライアン選手が 3 位にまで順位をあげますが、これからというところでタイヤがパンク。この時点で勝負権を失ってしまいました。今年 3 度目のタイヤトラブルでもあり、次戦に向けて早急な対策が必要です。走り切ることができれば上位を狙える速さはあります。残り 2 戦あきらめることなく臨みたいと思っています」

Team TAISAN チーフメカニック 岡部 拓氏のコメント

「予選ではわずかなミスにより Q2 進出を逃してしまいましたが、決勝レースは第 1 スティントを担当した山田選手のペースもよく、作戦どおり 23 周をこなしてドライバー交代を行いました。ピット作業も順調で、トップ 10 も射程内というところでタイヤがバーストしてしまいました。川端選手のレースラップは上位にも匹敵するタイムだっただけに、とても残念な結果となりました。これから 1 度テストのチャンスがあるので、できる限りの改善を行って、残り 2 戦、表彰台を目指していきます」

次戦、SUPER GT 第 7 戦は、10 月 20 日 (土) ~ 21 日 (日)、大分県のオートポリスにて開催予定です。